

海の体験学習（池間小学校）

宮古農林水産振興センター 農林水産整備課 長嶺 巖

1. 目的

池間島は古くから、一本釣り漁業や、カツオ漁業、網漁業が盛んに行われて、宮古でも有数の豊かな漁村集落であった。

しかしながら、カツオ漁業、網漁業の衰退とともに後継者も減少し島の漁業は元気がなくなっている。

そこで、池間小学校生徒の皆さんが池間周辺の海、サンゴを含めた資源のすばらしさや、島の漁業の理解を深め、将来の夢・目標・自立心を育むために、海の体験学習を実施した。

2. 対象

池間小学校生徒24人を対象にガラスボートでのサンゴやサンゴ礁に住む魚の観察や、沖釣り体験、刺し網漁体験、魚調理体験を行った。

3. 開催日時：平成21年7月19日（日）

08:00～09:30	サンゴ・魚観察
08:00～11:00	沖釣り体験
11:20～11:50	刺し網漁
11:50～12:30	料理体験
14:00	体験終了

4. 協力

池間小学校PTA

池間漁業協同組合

池間島海底観光 長嶺 武男

宮古地区漁業士会指導漁業士 伊良波進

5. 内容

（1）サンゴ観察・サンゴ礁の魚たちの観察

小学1年生から4年生18人と引率の先生2名、PTAの役員2名は午前8時00分池間漁協前の浮き桟橋に集合。

池間島で海底観光を営んでいる長嶺武男さん所有のガラスボート2隻で池間島北側のチュラビシでサンゴの観察を行い、サンゴ礁の魚たちに

ついても勉強した。

（2）グルクン釣り体験

5・6年生8名は、池間島で釣具店と遊漁案内を営む勝連釣具店の勝連見治さんと、漁協理事の佐久本新力さんが協力し、2隻の分乗して池間島北沖水深20mの海域で約1時間タカサゴ（方言名：グルクン）釣体験を行った

（3）刺し網漁体験

午前11時30分から生徒全員がカギンミ浜に集合して、池間漁協組合員与那覇 進さんが仕掛けた刺し網を親子で協力して砂浜に引き揚げて、網から魚をはずす体験を行った。

池間島では刺し網漁は珍しい漁法のため、釣りと違ってブダイやアイゴ、ベラが掛かり、網から外す作業に悪戦苦闘していた。

（4）魚の解体料理体験

グルクン釣り体験で釣った魚や、刺し網で漁獲した魚を砂浜に準備したまな板で解体し、刺身や焼き魚をつくる体験を行った。

大きい魚は刺身用に3枚おろしにして、小さい魚は焼き魚用にはらわた、エラを除いて銀紙に包んで準備した。

薪（たきぎ）は、浜に自生するあだん葉と流木を子供達が集めて火をおこし、準備した魚と芋を網にのせて焼く体験も行い、自然の中で子供達がつくった焼き芋や焼き魚を親子で食べながら、伊良波進指導漁業士が「海のすばらしさについて」講話した。

6. まとめ

今回の小学生全員による体験学習は、池間島周辺のサンゴや海の環境、釣り体験、昔ながらの料理体験など多くのメニューに取り組んだことは、子供達が池間島の海を理解する良い機会になったと思われる。

協力頂いた、池間小学校PTA、池間島海底観光、勝連釣具店、漁協組合員の与那覇進さんには多大なご協力をいただいた。この場を借りてお礼を申し上げる。

①池間島カギンミ浜に集合



②沖釣りで石巻落とし漁法を習う



③刺し網を砂浜に引き上げる体験



④魚の解体体験指導を行う伊良波進指導漁業士



⑤池間の生徒達はすごい



⑥魚の解体に挑戦する女性徒

